

審議した主な議案

令和 7 年度 一般会計予算

1月29日の本会議において、予算特別委員会（渡辺ふき子委員長）に付託し、2月18日、19日、20日、21日、26日、27日及び3月4日の計7回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、インクルーシブデザインに配慮した遊び場等を整備することで、共生社会を実現するための費用を含む都市公園等の整備に要する経費（9千88万7千円）、新庁舎（仮称）新福祉会館におけるICT整備計画を円滑かつ確実に進めるため、庁内ネットワーク・LAN整備を中心としてICT整備の全般的な再点検を行うための費用を含む内部情報システムに要する経費（5億4千14万3千円）、市公式ホームページの使いにくさ等の課題を解決するため、デザイン及び機能をリニューアルし、効果的な情報提供を行うための費用を含む広報活動に要する経費（8千420万6千円）などです。

賛成討論（要旨）

五十嵐京子（自民党・信頼）

物価高や人件費等の高騰は市政にも影響し、新庁舎（仮称）新福祉会館建設工事の入札不調など厳しい状況であるが、物価対策、将来に向けた行財政改革、市民の健康や安全安心を守る重要な予算である。

以前より、要望してきた職員の勤怠管理システム、避難所トイレ等の備蓄の充実、武蔵小金井駅北口駅前東地区の再開発事業、熱中症対策、民設民営学童保育所増の補助金等評価すべき点も多い。

しかし、小金井市立保育園の在り方検討委員会における委員の辞職や、優先整備路線に関する市長報告撤回のようなことは二度とないよう強く求める。

反対討論（要旨）

渡辺大三（子どもの権利）

①違法、無効との判決が確定している市立保育園2園の廃園

税の増税など暮らしに冷たい予算だからである。当会派の予算組替え動議で提案した緊急対策を含めた支援策を求める。第2に、庁舎等建設が入札不調となった。コストダウンと市民の声を反映した計画変更を行うべきである。第3に、公立保育園の廃園計画が進む状況だからである。第4に、学童保育所や集会施設等の修繕予算が不十分である。

そして、市長が都市計画道路に関する公約及び、市長報告を撤回した。市長と多くの市民・議会との信頼関係が失われる事態である。以上反対する。

賛成討論（要旨）

岸田正義（みらい）

我が会派が要望してきたことが多く含まれており評価できる一方で、複数の会派から何度も指摘されてきた事業構築の熟度の低さと提案姿勢の軽さが一向に改善されていない点は甚だ遺憾であり、それが顕著に表れたのが市長報告の撤回である。暖昧な市長答弁で議会が紛糾した1年前に我々はこうなる未来を予測して中途半端な独自検証ではなく予算や時間をかけるべきと提案し何度も警鐘を鳴らしたにも関わらず検証を強行し、東京都に根拠を示すどころか前代未聞の白紙撤回という無用な混乱を引き起こし、職員に無用の努力と労力を強いた市長の責任は重く、猛省と改善を求める。

反対討論（要旨）

斎藤康夫（参政党）

反対の理由の第一は、多くの専門家が安全性に警鐘を鳴らす新型コロナウイルスに対するレプリコンを含むmRNAワクチンを市民が選択できる予算が含まれている。

第二は、小金井市役所が保管している、戸籍をはじめ住民基本台帳、印鑑登録、土地家屋等の資産状況、健康保険、年金及び福祉関連情報等の個人情報データをアメリカ民間企業に預けるガバメントクラウドの予算が含まれている。

第三は、東京都の補助金である、昭和56年から平成12年までに新築された木造家屋の耐震診断の予算が計上されていないことである。以上から反対する。

賛成討論（要旨）

水谷たかこ（こがおも）

主な理由は、提案してきた政策の多くが盛り込まれ、住民福祉の向上が期待できることだ。市民の念願だった市公式ホームページのリニューアルを始め、インクルーシブに配慮した遊び場の整備、アウトリーチもできる産後ケアの充実、図書館での託児、オンライン決済や電子契約、勤怠管理システムの導入等のDX推進も評価できる。

しかし、学童保育の大規模化、市立保育園条例の改正、新庁舎等建設等、課題は山積している。市長報告の撤回は、プロセスの不備を厳しく指摘せざるを得ない。猛省の上、庁内一丸となって意識改革と課題解決、信頼回復に努めるよう強く求める。

賛成討論（要旨）

安田けいこ（生活者ネット）

優先整備路線2路線に関する市長報告に関し、市長の政治姿勢と今後の市政運営への影響を懸念するが、市民生活に必要な事業の予算として、賛成する。障がいのある子もない子も遊べるインクルーシブな公園作りの取組を評価し、保育園や学校等に広がることを期待するが、環境配慮から整備の際、人工芝を

使用しないことを求める。市民の健康を守る取組は不十分。他市はPFAS汚染への独自対策を行うが、本市は都や国の動向を注視のみである。また、HPVワクチン被害者の現状把握も行わず、積極的勧奨を進めることは罪深い。デメリットの周知を強化すべき。

賛成討論（要旨）

坂井えつ子（緑・つながる）

小金井市の積年の課題である新庁舎等建設事業は、2月18日までに工事事業者の申込みがなかったため、議決した予算の範囲内で再公告を行うこととなった。議会の議決も経て進めてきた本事業は、小金井市として着実に進めていくべきである。また、気候危機対策に要する取組が強化されていることは評価する。今定例会で、小金井市では初めて、市長報告を撤回する事態となった。市長報告そのものの及び市議会を軽んじるものであり、市長としての資質に欠ける行為で、信頼関係のない市長が提案する予算には賛成しがたいが、市民生活への影響等を鑑み、予算には賛成する。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

1月29日の本会議において厚生文教委員会（吹春やすたか委員長）に付託し、2月10日に審査を行いました。

本条例は、国民健康保険事業の円滑な財政運営を確保するため、国民健康保険税額の改定を行うものです。

2月10日の委員会では起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月6日の本会議では、起立

採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論（要旨）

たゆ久貴（日本共産党）

改定内容は、合計で1・3億円の市民負担増であり、1人当たり6千700円の値上げである。小金井市の国保税は長らく多摩26市で1番高かった。この間税率改定の値上げはしていなくて良かったが、再度の値上げは問題である。一般会計からの法定外繰入れを減らしていることが問題である。この方針を改めるべきである。物価高騰の中、国保税の値上げは加入者の暮らしをさらに大変にする。国保は加入者の負担だけでは制度を維持できない構造的な問題を抱えている。国や東京都に財政支援を求めるものであるが、それがかなわない状況において市が負担軽減に努力するべきである。

賛成討論（要旨）

高木章成（子どもの権利）

白井市長は、もはやマニフェストを語る立場にないと考える。西岡前市長の負のレガシーから小金井市を立て直すことが期待された市長の公約の多くは、精彩を失い「サギフェスト」に成り果ててしまった。

私は当然、白井市長は不信任、辞職に値するものと考えているが、二元代表制のもと議会は熟議を経て、より多数をもって意思表示することが、決議の政治的意義を高めることになると考えるに至った。

よって、白井亭市長は市長としての資質に著しく欠け、その職にふさわしくなく、辞職に値すべきものと断罪し、本決議案に賛成する。

反対討論（要旨）

清水がく（街の仲間たち）

我々は唯一の戦争被爆国として、核軍縮に向けた不断の努力を重ねていかなければならぬが、我が国のインド太平洋地域における安全保障の課題である北朝鮮、中国、ロシアといった不安定要因を抱えており、日本は安全保障を究極的に米国の核の傘に依存するという現実から目をそらすことはできない。そのため、日本政府は国民の生命と財産を守る責務から、安全保障上の脅威に適切に対処するとともに、核保有を米英仏口中

お詫びと訂正

市議会だより290号（2月20日発行）の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。7面「意見書・決議の審議結果」の最下段「新庁舎等建設について、市民要望に応え、抜本的な建築コスト削減を図るべく、抜本的な直しを求める決議【誤】：原案可決【正】：否決